

留学を経験して、より多くの国の人と話せるようになりたいと思うようになり、英語学習への意欲も高まりました。

【学習面】

最初の2か月はAP5のクラスだった。毎日文法の課題が出て、週末にはリーディングの課題が出ていたが、量は多くなかったため、予習・復習にも時間を当てることができた。クラスでは、分かっているつもりでも深いところまでは理解していない文法が多くあったことに気づくことができ、勉強しなおすことができた。

次のAP6のクラスでは、課題や授業内容のレベルが一気に難しくなったと感じた。外国人のクラスメイトが積極的に話しているのに圧倒され、自分から発言することが減ってしまったのが反省点。専門的な用語が出てきたりしたので、論文を探したり、単語を調べたりするのに苦労した。環境問題や社会問題に関するトピックが取り上げられていたので、英語だけでなく、世界やカナダの問題についても知り、考えることができた。

【生活面】

カナダには様々な人がいたが、人種が違っていても差別などはなく、お互いの文化を尊重して暮らしていた。そのため、親切な人が多かった。

私のホームステイ先はホストマザー1人だけだったので、友達のように仲良くなることができ、週末はホストマザーの親戚の家で食事をしたり、買い物に行ったり、湖でカヤックをしたりした。

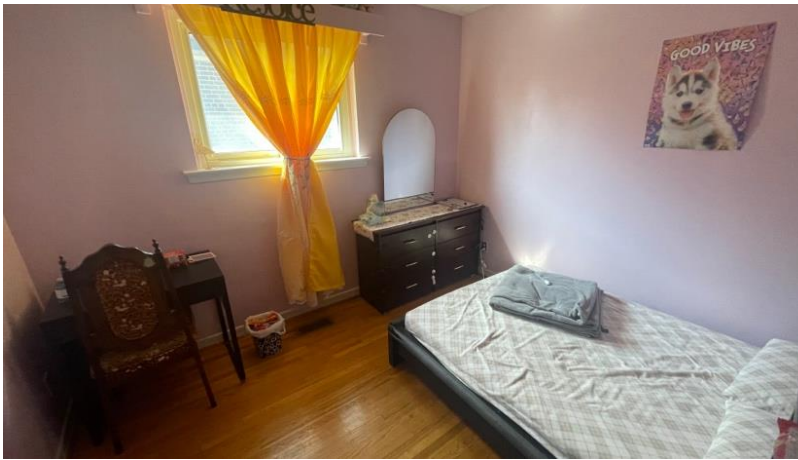
【安全面】

荷物を放置しない、夜に1人で行動しない、様子がおかしい人を見かけたら近づかない、ということに注意した。日本と違って、カナダにはホームレスやクスリを使用している人が多いため、夜に出歩かないことを心掛けた。昼に出かける時も、ダウンタウンの周辺にはホームレスの人が多いため、友達と離れないようにした。

【感想】

英語だけでなく、人との関わり方や異文化、カナダに住んでいる人々の生活なども学ぶことができた。また、日本の良いところや、日本がどのくらい他の国で知られているかなども知ることができ、日本の良さを再確認するいい機会にもなった。

今までの私は初対面の人と積極的に話をしたり、自分の意見を言ったりすることはなかったが、以前より積極的になったと思う。人と関わることがあまり好きではなかったが、将来的には人と関わりたいと思うようになった。



現地での初めての経験、驚き、 学びもたくさんあったが、日本の 良さや不足している点にも気づ くことができました。

【学習面】

私が参加したプログラムでは、週6日のうち3日間は対面授業で、2日間はオンライン授業だった。授業時間はクラスによって午前と午後に分かれていて、私は2ターンとも午前授業のクラスだったので、午後は友達と課題をこなし、遊びに出かけたりしていた。

授業内容は、英語の基礎を学ぶ内容がほとんどで Listening, Writing, Reading, Speaking すべての技能を満遍なく学ぶことができた。2週間に1度、授業内で Writing のテストがあり、先生から出されたお題に関する自分の意見や考えを 200 文字以上で書くというものだった。また、1か月に1回程度、5～10分の個人プレゼンがあったので、それを通して、話し方や質疑応答など Speaking の基礎について学ぶことができた。

授業とは別に、教科書課題や、週2回の Student Reader との会話を行わなければならなかったので課題量は多かったと思う。

【生活面】

私のホストファミリーはフィリピン人家族で、小学生の女の子が3人いるとても賑やかな家庭だった。英語を話すチャンスが学校と家の中がほとんどだったので、時間がある時はリビングに行って、ホストマザーと話をしたり、子供たちと一緒に遊んだりしていた。

私が留学した期間は、ちょうど春から夏の終わりの期間だったので、最初の1か月程は長袖に羽織があれば十分だったが、6月中旬から徐々に暑くなっていった。日本と比べて湿度が低いので、日差しは強いが比較的過ごしやすかった。

交通面については、バスと電車が頻繁に通っているので、とても移動しやすかった。1度乗車すると、2時間以内はバスト電車が乗り放題だったので、とても便利だと思った。

【安全面】

実際に現地に行って感じたことは、日本よりも断然ホームレスが多いということ。地下鉄に乗れば高確率で遭遇するし、街の方に行けば歩道に座り込んでいる人や、そこで寝泊まりをしている人もたくさんいた。お金を要求してくるので、目を合わせず、近くを通らないように意識した。常に日本ではないということを気に留めて生活しなければならなかったと感じた。

【感想】

留学することは簡単ではないけれど、日本では絶対にできない経験ができるし、自分自身の英語に関するモチベーションも上げることができたので、心の底から留学に行ってよかったと感じている。



もっとも留学してよかったと感じたことは、人々と関わっていく中で、私の中での色々な国のイメージが変わったことです。

【学習面】

SpeakingとWritingの成長を感じることができた。私は、AP7、AP8&9、AP9の3つのクラスを留学中に受けました。

AP7のクラスではSpeakingに重点を置いた授業内容が多かったため、このクラスではSpeaking力の向上を感じました。

AP8&9のクラスでは、Writingに重点を置いた授業だった。エッセイの中で使うことができる文法や、アカデミックな接続の言葉、文章の言い回しなどを学んだ。リサーチペーパーの作成には信頼できる参考資料を探す必要があったため、どのような資料が信頼できるのかという情報リテラシーも学ぶことができました。

AP9のクラスでは、よりアカデミックなエッセイが書けるようになるための授業が多かった。よりフォーマルな文章にするために多くのアドバイスをもらった。クラスの人数が少なかったため、樹朝中に発言できる機会も多かった。

【交流】

一つの国に様々な国籍の人が集まるのはカナダの特徴であり、魅力であると考えます。そのため、様々な国の料理を食べることができ、韓国料理、中華料理、リビア料理、メキシコ料理、フィリピン料理などに挑戦した。世界各国の文化に触れるたびに、その国に興味を持ち、そして訪れてみたいと思いました。

カナダでは英語を共通語として使用していても、人によってそれぞれに英語のアクセントがあった。同じ言語を話していても、それぞれの母語の特徴が出てきて魅力的だと感じたが、それにより聞き取れない英語のリスニングが難しいこともありました。

【感想】

何をするにも英語を話す必要があったので、生活の中からも英語を学ぶことができました。留学を経て、ためらうことが減り、質問をすることができるようになりました。質問をしたことをきっかけに、新しい友達ができただけでなく、成長することができてよかったと感じています。

いつか海外でまた生活したいと考えているし、様々な国の友達もできたので、友達の国にも訪れたいという夢もできました。

成長や新しい目標ができた留学を経験することができてよかったです。